

「清流の国ジュニアアスリート育成プロジェクト」 令和5年度 事業概要

1 目的

運動能力が優れた人材を県内のジュニア世代から発掘し、県独自の「育成プログラム」を計画的・継続的に実施することにより、それぞれの適性に合った競技を選択できるよう支援することで、将来オリンピックをはじめとする国際大会で活躍できるアスリート輩出を目指す。

2 内容

(1) 発掘プログラム（見つける）

小学4、6年生を対象に運動能力測定を実施し、運動能力の高い選手を各25人程度発掘

(2) 育成プログラム（育てる）

①競技プログラム

各競技団体の優秀な指導者のもとで多競技を体験し、自分の得意な能力を理解しながら将来を見据えて、自分の適性にあった競技を選択できる能力を育成する

【清流ジュニア（中学1～3年生）】

11競技を年間20日程度、オリンピック出場の可能性のある競技に特化して3年間で体験（予定競技）

カヌー、ボート、ウエイトリフティング、フェンシング、ホッケー、レスリング、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、セーリング、自転車、ライフル射撃

【清流キッズ（小学5、6年生）】

13競技を年間20日程度、オリンピック出場の可能性のある競技に特化して2年間で体験（予定競技）

前述の11競技のうち、ボート・自転車を除く9競技+アーチェリー、ボクシング、ハンドボール、水球

②共通プログラム

スポーツ科学（心理学、栄養学、医学、トレーニング法、アスリートライフスタイル等）の講義を通して、トップアスリートに必要な知識や知的能力を育成

- ・スポーツ心理学、栄養学、医学、トレーニング法等の講義を5日程度実施
- ・日本一をめざす部活動の見学を1日実施
- ・オリンピックなどトップアスリートを講師に講演会を1日実施

(3) 選択プログラム（活かす）

育成プログラム修了時に、中学校・高校進学以降にトップアスリートを目指せる可能性のある最適な競技（部活動・クラブ）が選択できるよう、選手、保護者に助言

- ・三者面談を1日実施

3 実施体制

主 催：岐阜県

協 力：（公財）岐阜県スポーツ協会、関係競技団体、岐阜大学、岐阜聖徳学園大学、岐阜協立大学、朝日大学、中部学院大学、大塚製薬（株）、味の素株式会社

後 援：岐阜県教育委員会、（独）日本スポーツ振興センター